



健康の基本は「歩く」こと

1月3日「第44回下妻市新春歩け歩け大会」



第4回

ひなに魅せられて

～ひな人形の世界～

平成27年

2月7日(土) - 3月8日(日)



写真は昨年の展示風景です

博物館のひなまつり

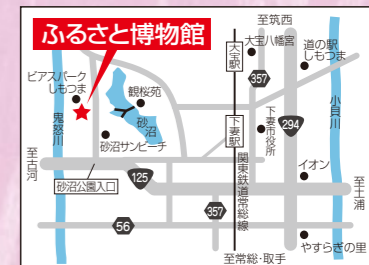
3月1日(日) PM1:30～

- ♡コンサート
バイオリン・フルート・ピアノ演奏予定
- ♡市内保育園児の発表
- ♡お抹茶 無料サービス
*なくなり次第終了
- ♡当日のみ入館料無料

開館時間 午前9時～午後4時30分
 休館日 2月9日(月)・12日(木)・16日(月)・23日(月)・3月2日(月)
 入館料 一般200円(160円) 児童・生徒100円(80円)
 ()内は15人以上の団体料金 *65歳以上、小学生未満は無料

下妻市ふるさと博物館

下妻市長塚77番地(ピアスパーク手前) TEL 0296-44-7111



年頭のあいにく



下妻市長
稲葉 本治

新年あけましておめでとうございます
市民の皆さまには、清々しい新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

また、昨年中は、市政各般にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、市制施行60周年を節目として、これまで先人の英知と努力で築かれた歴史や文化を再確認し、「安心・安全、そして健康で、活力ある下妻市づくり」に向け、子育て・教育環境の向上や定住人口の増加に向けたシテイセールスなどを推進し、将来を見据えた施策を積極的に展開いたしました。

特に、企業誘致に関しましては、既存の

工業団地がほぼ完売し、これまでインターネットでのタイヤ販売の大手「株式会社オートウェイ」、自動車や工作機械などの空気圧機器のトップメーカー「S M C株式会社」、食品系の物流を手掛ける「三共貨物自動車株式会社」、自動車のマフラーなどで高い技術とシェアを持つ「株式会社三五関東本社」がそれぞれ操業を開始しました。

さらに、本年4月には日野自動車関連でプレス部品製作・加工の「城山工業株式会社」、平成28年1月には耐震・免震製品製造のトップメーカー「岡部株式会社」が新たに操業予定されるなど、本市の新規財源確保をはじめ、雇用の確保など市内さまざまな分野における経済波及効果に大きな期待が寄せられております。

一方、人口減少・少子高齢社会の中にあつて、市民の皆さまが生き活きと元気に暮らしていくため、「健康＝健康で幸せ（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること）」づくりは、喫緊の課題であり、新たな健康

増進施策に取り組みながら、「健康寿命」を延ばす各種施策を展開してまいります。

現在、砂沼周辺地区の都市再生整備計画、画事業を通して、街並みを再生させ、「見える砂沼」づくりに取り組んでおります。

砂沼を拠点に楽しんで歩ける「健康都市しもつま」づくりを着実に進め、併せて子どもを産み育てやすい環境づくりと、質の高い教育環境づくりをさらに推進し、若者が集うまちづくりを構築してまいります。

新年を迎え、昨年にも増して下妻市の魅力度を高め、何よりも市民の皆さまに「健康で明るく活き活きと輝く下妻市づくり」の具体的な成果を、スピード感を持ってお見せできるよう努めてまいります。気持ち新たに強く決意したところでございます。

結びに、市政運営に市民の皆さまのご理解とご協力をお願いし、皆さまにとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年インタビュー



仁川アジア大会の銀メダルと賞状を手にする黒須選手と稲葉市長（市役所本庁舎）

女子近代五種 黒須 成美選手 「自分に克つ」

平成26年10月に韓国で開催された仁川アジア大会で、女子近代五種の団体で銀メダル、個人で6位に入賞した下妻市黒駒出身の黒須成美選手が12月16日、稲葉市長を表敬訪問しました。

2012年ロンドン五輪に出場し、2016年リオデジャネイロ五輪の日本代表にも期待される黒須選手に、新年の抱負とふるさと下妻について語っていただきました。

■練習から自分に克つ

ロンドン五輪が終わってからの1年がすこく停滞していました。そこから、韓国人の李春基監督と契約をして、「一から始めよう」ということで、底上げの時期と考え、「基礎体力の強化」を目標に一年間トレーニングを続け、鍛え直しました。トレーニング時間が増え、泣いて練習したり、何度も嫌になったりしましたが、ずっと監督を信じて、「練習で自分に克てなかったら、試合の時に自分に克てない」と自分を追い込みました。どんなにつらくても、ランニングの練習では目の前に1位の選手がいるイメージでトレーニングをする。そういう意識でいると、最後の最後までゴールに少しでも早く着こうという意識で走れたので、「自分に克つ」ということが一番大事だと感じるようになりました。

そのような中で、自分の記録更新を目指す「自分の中での記録会」という意識で試合に臨み、一つ一つの大会で結果を出してきたので、それがアジア大会で団体のメダル、個人の入賞につながったと思っています。

■目標は大きく、常に持つ

ロンドン五輪をステップに、リオ五輪でトップ10に入りたいし、東京五輪をメインに考えているので、地元日本で輝くもの、メダルが欲しい。目標は大きく、常に持っています。ここ一年は、基礎練習しかしていなかったのに、結果が出てきていることから、自分にまだまだ伸び代があると感じることができた年でした。この自信を大切に、経験を積みながら、まずは5月下旬のリオ五輪の選考会を兼ねた「アジア選手権大会」でアジア5人枠に入り、五輪代表を決めなければならない。冬の時期にはウエイトトレーニングも行い、基礎体力をもっと上げられるよう、さらに追い込んでいきたいと思っています。

■下妻市にオリンピック選手が続くいい流れを

最近とくに、下妻の子どもたちが全国大会に出場するなど、下妻でスポーツが盛んになっていると感じています。柔道女子の塚田真希選手から2004年アテネ五輪、2008年北京五輪、私の2012年ロンドン五輪まで下妻市からオリンピック選手が続いているので、地元下妻の子どもたちの中から新たなオリンピック選手が誕生し、このいい流れが続くように願いながら、私も2020年東京五輪までは集中力を切らさないでトレーニングしていきたいと思っています。

「砂沼周辺地区事業 まちづくりワークショップ」開催

市では、中心市街地のにぎわいを造り出す「砂沼周辺地区都市再生整備計画事業」の一環として、市民協働のまちづくりを進めるため、「砂沼周辺地区事業まちづくりワークショップ」の第1回会議を11月24日、市立図書館で開催しました。

今回の会議では、市内の商工関係、まちづくり団体、高校生、市職員から選出された10代～80代の29人に委員を委嘱した後、本事業を進める上で下妻の魅力について再認識しようと、4班に分かれてワークショップを行いました。

ワークショップが初体験だったと話す下妻一高1年の寺門有紀委員からは「大人の委員さんから意見がどんどん出てくるので圧倒された。個人の意見を附箋に書き出して、みんなでまとめ上げる手法は、学校で物事を決める時にも使えと思った」と話が聞けました。

今後は、3月までに計4回の会議を通じて、砂沼周辺地区事業でまちづくりの新たな拠点として整備される砂沼エントランス(仮)と交流広場(仮)の効果促進案が検討されます。



ワークショップで熱心に討議する委員たち

家族内のルールで魅力的な農業を「下妻市家族経営協定調印式」

市役所会議室で11月26日、ネギや白菜などを栽培する人見一成さん、正恵さん夫妻(鎌庭)と、米や小麦を栽培する野部幸男さん、妻の百合子さん、母のアサ子さん一家(田町二丁目)の2家族が「下妻市家族経営協定調印式」に臨み、平成10年から始まった家族経営協定は延べ34家族となりました。

「家族経営協定」は、家族経営中心の農業が魅力的な職業として、男女を問わず意欲的に取り組めるよう、家族内で就業条件や休日の設定などのルールづくりをするものです。

以前は会社勤めをしていたと話す野部百合子さんは「自営業である農業者に、家族内での仕事を明確にする制度があることを知って驚いた。とても良い制度だ」と意欲を見せ、母のアサ子さんは「夫が大ききした農業基盤を息子夫婦が継いでくれてうれしい。家族協定を結んだことでより頑張りたい。私もできる限り協力したい」と調印を喜んでいました。



皆さん笑顔で調印されました(左前列から人見夫妻、野部家の皆さん)

誘致企業の工場建設進む 雇用創出や定住人口増に期待

■岡部株式会社が「茨城新工場新築工事起工式」開催



起工式にあたりNHKニュースの取材を受ける廣渡社長

耐震や免震用の建築資材を製造する業界最大手の岡部株式会社が12月17日、市内半谷のつくば下妻第二工業団地で、「茨城新工場新築工事起工式」を行いました。地鎮祭では、廣渡眞社長が鍬入の儀を行い、稲葉市長が玉串を捧げるなどして工事の安全を祈願しました。

新工場は、今年1月から第一期工事に着手し、平成28年1月の稼働開始を目指しています。総投資額約65億円をかけ、敷地面積約8.3ヘクタールに国内最大規模となる工場が建設される計画で、第一期工事の完成に伴い、現地採用や千葉工場から移る社員など約70人を雇用する予定です。

起工式のあいさつで、廣渡社長は「これだけ広い土地に、圏央道が完成すればインターチェンジから20分程度で来られる。いろいろな意味で好条件がそろった。

県や市の対応が迅速で、短期間で起工式に至ったことに大変感謝している。東日本を中心にやっていく工場となるが、将来的にはもっと拡充していきたい」と大きな展望を語りました。

■SMC株式会社が「下妻工場第2期建築工事地鎮祭」開催

自動車、電機、工作機械など多くの産業に欠かせない空気圧機器を製造するトップメーカーのSMC株式会社が12月22日、市内高道祖のしもつま桜塚工業団地で、「下妻工場第2期建築工事地鎮祭」を行いました。

同社の下妻工場は、敷地面積10.8ヘクタールに、第1期建築工事で床面積28,000平方メートルになる2棟の新工場を建築し、平成25年6月から操業を開始しています。今回の第2期建築工事は、現工場の約1.5倍となる床面積42,600平方メートルの新工場2棟を建設し、平成28年3月の稼働開始を目指しています。

地鎮祭後のあいさつで、佐竹正彦専務取締役・製造本部長は「今期の業績は順調に伸びている。下妻工場の操業開始から、わずか1年半で第2期工事に着手できることは誠に喜ばしいこと」と話し、稲葉市長は「地域経済の活性化や雇用の拡大にとどまらず、従業員の皆さまの移住や定住など、多方面にわたる波及効果に大きな期待を寄せている」と新工場建設を歓迎し、工事の安全を願いました。



鍬入の儀を行い、工事の安全を祈願する佐竹専務取締役(右)と稲葉市長(左)

独自技術で冷蔵した下妻の貯蔵梨 海外へ進出

下妻市の名産品・梨の輸出に取り組むJA常総ひかり、下妻市果樹組合連合会、茨城県農西農林事務所、下妻市は12月2日、在東京タイ王国大使館を表敬訪問し、独自技術で冷蔵した下妻の貯蔵梨「豊水」を進呈しました。タイの年末年始の贈答や旧正月の供え物としての需要を見込んで、12月11日から行われる商談活動を前に表敬したものです。

約20年前から12月上旬に販売されている貯蔵梨は、冷蔵保存することで酸味が抜けて甘みが増し、お歳暮用に人気があります。

12月9日にはタイのプミポン国王への献上用に、さらに12月21日に来日したチュラポン王女への献上用に貯蔵梨を同大使館に贈りました。タイ王室への献上は、8月にタナティップ・ウパティシン大使が農業視察で本市を訪れた際、下妻の梨を気に入ったことがきっかけとなっています。

また、昨年6月に開所した茨城貿易情報センター(ジエトロ茨城)と連携して、11月に行ったマレーシアでの試験販売での好感触をもとに、今年2月の現地の旧正月に合せて貯蔵梨の販売を開始する予定です。

JA常総ひかり下妻地区センター営農課の上野博樹課長は「タイ国王、王女に献上したことによるタイ国内での反響から、今後の贈答用貯蔵梨の取引増を期待したい」と話し、今後も農産物の販路拡大を目指した東南アジアへ輸出が進められます。



タナティップ・ウパティシン大使(右中)に貯蔵梨を紹介する梨生産関係者(12月2日、在東京タイ王国大使館で)

認知症を正しく理解する「下妻市高齢者家族介護支援事業講演会」開催



認知症の初期症状などを詳しく説明する杉野教授

市では11月22日、認知症の知識を普及啓発する「下妻市高齢者家族介護支援事業講演会」を千代川公民館ホールで開催し、市内外から約100人が参加しました。

講演会は、3人の講師が壇上に上がりました。古河赤十字病院の山中恵理氏からは、同病院内に設置された認知症疾患医療センター「もの忘れ外来」の実績報告があり、「認知症かどうかは早く確かめることが大事。心配なことがあれば早く当センターに相談を」と呼び掛けました。

「いろいろな認知症～認知症の進み方・認知症の検査と治療～」と題した、つくば国際大学の杉野一行教授の講演では、「アルツハイマー型」「レビー小体型」「脳血管性」の認知症の特徴や進み方が解説されたほか、最近では認知症の薬が開発され、症状を改善したり、進行を抑えたりすることができるようになってきた明るい情報が提供されました。

社団法人アロマ環境協会の岸直美氏からは、香りが脳を癒し、認知症に効果的で、予防効果があることなどの説明がありました。会場には、アロマテラピー効果のあるさわやかな香りが広がり、講演の間の休憩タイムには、アロマ効果が体験できるようハーブティが提供され、参加者はロビーで会話とハーブティを楽しむひとときを過ごしました。

若年性アルツハイマーに関心があって参加した40代の女性からは「40代でもかかってしまう病気で他人ごとではない。どのような症状が認知症になるかの判断が参考になった。親も心配になる年代なので、認知症をよく理解して対応していきたい」と話が聞けました。



休憩タイムにハーブティを楽しむ参加者

有料広告欄

有料広告欄

下妻法人会より車椅子寄贈

11月7日、一般社団法人下館法人会の社団化30周年を記念し、地域社会貢献活動の一環として本市の福祉行政に寄与することを目的に、下妻法人会（渡辺欣一会長）より車椅子2台が寄贈されました。



稲葉市長(中)に車椅子を手渡す渡辺会長(左)と石塚副会長(右)

下妻千代川ライオンズクラブより寄附

11月11日、下妻千代川ライオンズクラブ（大和田英雄会長）主催による「第8回チャリティゴルフ大会」が筑波東急ゴルフクラブで開催され、参加者152名から寄せられたチャリティ募金10万円を「青少年育成のために役立ててほしい」と寄附いただきました。



青柳教育長(左)に寄付金を手渡す大和田会長(右)

下妻市ネットワーク等連絡協議会より絵本寄贈

12月16日、下妻市ネットワーク等連絡協議会（軽部守彦会長）より下妻保育園ときぬ保育園に絵本80冊が寄贈されました。

同協議会は、毎年5月に鬼怒フラワーラインで開催される「花とふれあいまつり」の会場で、「花の福祉募金」に協力を呼び掛け、皆さまにご協力いただいた募金を主に福祉事業のために役立てています。



稲葉市長(左)に絵本を手渡す広瀬副会長(中)と軽部会長(右)

「男女共同参画推進事業・児童虐待防止講演会」開催



国の動向やデータに基づく社会の現状から、参加者にやさしく問いかけする小宮山氏

男女共同参画社会の推進と児童虐待のない社会を実現するためには、社会全体が一体となって取り組むことが大切です。市は11月30日、「男女共同参画推進事業・児童虐待防止講演会」を市立図書館で開催し、市民をはじめ県内外から約180名が参加しました。

NHKアナウンサー・解説委員を経て、国会議員として厚生労働大臣、少子化担当大臣等を歴任し、現在はフリージャーナリストとして活躍する小宮山洋子氏を講師に迎え、「一緒に考えてみませんか 新家族像、女と男、豊かな生き方」と題した講演が行われました。

ジャーナリストの経験からデータに基づく社会の現状を分かりやすく解説し、今の自分たちは何をすべきか、どう考えるべきかを問いかける小宮山氏は「今後到来する超高齢化社会に、働く人口が毎年1%ずつ減少すると見込まれる。仕事は男、家庭は女という性別による役割分担でなく、家庭や社会の中で日々、意見交換をして、それぞれの役割分担を一人一人が考えて行動することで、少しずつ家族のつながりや社会の在り方を変えていきましょう」と呼びかけました。

参加者からは「未来の子どもたちのために、今自分たちができることからやっていきたい」となど前向きな感想が寄せられました。

また、同会場で、男女共同参画社会を家庭内で考える機会づくりと関心を高めるために募集した「川柳・標語作品」の表彰式を行いました。応募があった348作品の中から市内小中学生6組の親子が表彰されました。

「川柳・標語」入賞作品

■最優秀賞
主婦と主夫 家事分担で 思いやり
騰波ノ江小学校5年 大塚 誠也
“認め合う” 平等社会の 第一歩
下妻中学校2年 坂入 榛名

■優秀賞
すごいよね 男女が協力した力
高道祖小学校5年 渡辺 渚友
楽しいね 男女で協力 家事育児
東部中学校1年 小木曾 太陽

■優良賞
認めよう だれもがもってる 自分らしさ
下妻小学校5年 小口 碧士
手をつなぎ 生まれる力 動き出せ
千代川中学校3年 木下 泰我

未来ある青少年育成と人権尊重の社会を目指して

健全な青少年育成や教育の充実を図る「第32回下妻市教育振興大会」と、人権教育の充実をめざした「下妻市人権教育講演会」が12月7日、市民文化会館で同日開催され、教育関係者や市民など約500人が参加しました。

教育振興大会では、青少年の健全育成を柱とする大会宣言を参加者一同で唱和した後、市の教育振興に尽力された62名が表彰されました。

また、今回で3回目となる「いじめ防止」に関する標語コンクールの最優秀賞者2名が表彰されました。この標語コンクールは、児童生徒がいじめ防止に向けて標語を作成することを通して、いじめの問題について考えることを目的としたものです。



受賞おめでとうございます

■「いじめ防止」に関する標語【最優秀賞】

言葉一つで傷つく心 言葉一つで救える心
大形小学校6年 西野 瑛介
みた時は 声をかけよう 気にかけてよう
千代川中学校2年 浅野 順也

人権教育講演会では、作曲家・演奏家の前川裕美さんが、「夢見る力を信じて～ともに生きる未来をめざして～」の演題のもと、ピアノ演奏と歌を交えて、自身の体験や思いについて講演しました。小学5年生の時に進行性の弱視「網膜色素変性症」と診断され、視力が低下していく中、多くの困難にぶつかりながらも、盲導犬や家族、仲間の支えを受けながら、前向きに生きてきた前川さんは、「留学して自分の状況を伝える大切さを知った。言葉には大きな力があり、障がいのある、なしに関わらず、何事も言葉にするべき」と語りました。

参加者からは「歌も素晴らしく感動で涙があふれた」「家族に感謝しながら、前向きに頑張りたい」となど意見や感想が寄せられました。



自身の体験や思いについて語る前川さん

衆議院議員総選挙 投開票結果

投票結果（小選挙区選出議員選挙）

12月14日に行われた衆議院議員総選挙の結果についてお知らせします。

	第1選挙区（旧下妻市）		第7選挙区（旧千代川村）	
	男	女	男	女
当日有権者数	14,029人	14,060人	3,730人	3,725人
投票率	計 28,089人	計 7,455人	46.71%	54.43%

開票結果（小選挙区選出議員選挙）

第1選挙区（旧下妻市）			第7選挙区（旧千代川村）		
候補者氏名	党派	投票数	候補者氏名	党派	投票数
大内 くみ子	日本共産党	1,379	なかむら 喜四郎	無所属	1,870
福島 のぶゆき	民主党	3,839	ながおか 桂子	自由民主党	1,699
田所 よしのり	自由民主党	7,545	白畑 いさむ	日本共産党	397
無効票		356	無効票		92
合計		13,119	合計		4,058

茨城県議会議員一般選挙（下妻市選挙区）選挙結果

茨城県議会議員一般選挙の下妻市選挙区は、立候補者が飯塚秋男氏のみであったため、無投票となりました。



参加者に街並みなどを解説する「下妻いいとこ案内人の会」メンバー（三道地公園前で）

下妻の歴史的街並みを再発見

第2回下妻街並みウォーキング

隠れた下妻の名所を歩いて案内しようと「茨城県建築士会下妻支部」と観光ボランティアグループ「下妻いいとこ案内人の会」がタッグを組んで企画運営する「下妻街並みウォーキング」が11月23日、市内上町、三道地、西町を中心とした下妻街道沿いで開催され、市内外から42人が参加しました。

大正時代に建築された外国人宣教師の「ビンフォード邸」、戦後の開業で昭和の香りが残る「中嶋医院」、皇室関係者も宿泊した昭和モダン和風建築の「沼尻住宅（旧六芳園）」の3軒が特別公開されたほか、沼尻住宅の庭園では下妻市観光物産会が提供するドーナツとお茶のおもてなしが参加者を喜ばせていました。

参加者からは「他のコースもぜひ歩いてみたい」「こういう古き良き建物は今後も残してほしい」などと話が聞けました。

街を彩るイルミネーション 市内各所でイルミネーション点灯

やすらぎの里しもつまで11月23日、「蚕飼地区まちづくり委員会」が、地域交流イベントでイルミネーション点灯式を行ったのを皮切りに、市内各所で街を彩るイルミネーションが点灯しています。

市内の若者が集う「さぬま・桜の会」は11月29日、屋台やステージをそろえた地域イベント「第1回砂沼!冬の桜まつり」を砂沼南岸で開催し、市内外から約1千人が参加しました。夜の点灯式では、LED2万5千個を使った桜木7本と光のゲートが点灯されると、会場から「わー、きれい」などと歓声が沸いていました。

「栗山商店会」は11月30日、下妻駅前広場に竹取物語をテーマにしたイルミネーションを点灯させました。点灯式に参加した60代の女性からは「竹のイルミネーションを初めて見た。和の雰囲気イルミネーションもいいものですね」と話が聞けました。

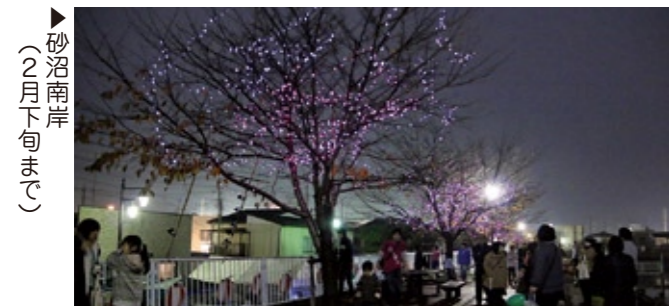
「大町・下木戸地区商工振興会」は12月7日、観桜苑の駐車場に高さ10メートルにもおよぶ巨大なツリー状のイルミネーションを完成させ、砂沼を訪れる人たちの目を楽しませています。



▶やすらぎの里しもつま
(1月下旬まで)



▶下妻駅前広場
(1月下旬まで)



▶砂沼南岸
(2月下旬まで)



▶観桜苑駐車場
(1月中旬まで)

有料広告欄

有料広告欄



補助具でバランス感覚をつかむ初心者

筑波サーキットを一輪車で走ろう

楽しい一輪車教室

体力づくりの一環として、幼いころからバランス感覚を育てようと、市内小中学校の教職員で組織する下妻市教育研究会の体育・保健体育研究部が主催する「楽しい一輪車教室」が11月29日、筑波サーキットで開かれ、市内小学校の児童148人が参加しました。

参加者の約半数が初心者という中で、補助具の手すりを使い、乗り方やこぎ出し方をやさしい声掛けで指導する日本一輪車協会公認指導員の岡山巧さんと新井佑子さん。参加者は少しでも早く一輪車を乗りこなそうと真剣なまなざしで練習を繰り返していました。

学校で一輪車に挑戦したが乗れるようにならなかったという大宝小学校3年の森晴菜さんは「先生の『前を見て乗る』のアドバイスに、バランスが取れて安定するようになった。もう少しで乗れそうな感じ。運動会の一輪車発表に選手で出場できるように、これからは練習したい」と好感触に今後の意気込みを語りました。



チラシが入った啓発品を手渡ししながら防犯を呼び掛ける一日署長の児童たち

みんなで防犯 みんなで根絶 飲酒運転 年末犯罪抑止・飲酒運転根絶キャンペーン

防犯力を高めて犯罪を抑止することや飲酒運転根絶を呼び掛けるキャンペーンが12月19日、イオンモール下妻で開かれ、下妻警察署や交通・防犯関係団体から約80人が参加しました。

開会式では、八千代町立中結城小学校1年の児童2人が一日署長に委嘱され、「おじいさん、おばあさん、電話でお金のお話をされたら全部詐欺です。気をつけましょう」などと声を合わせて防犯・交通安全宣言を行いました。

下妻警察署の櫻井哲朗署長は、前年同時期に比べて犯罪、交通事故ともに発生件数が減っているものの、管内で中学生と高校生の若い命が交通事故により奪われたことに触れ、「このキャンペーンを機に、犯罪がなくなるよう、交通事故がなくなるよう、安心安全なまちをつくっていきましょう」と参加者などに協力を求めました。



雨の中の熱戦を制して優勝

第19回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりんスポーツ大会「輪投げ」優勝

高齢者に適したスポーツを通じて健康の保持増進を図る第19回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会の「輪投げ」で優勝を果たした市老人クラブ「村岡大和会」の篠山静子さん（85）、太田時子さん（77）、鈴木カツヨさん（77）、古澤絹代さん（71）が11月26日、市老人クラブ連合会の役員と共に市役所本庁舎を訪れ、稲葉市長に県大会優勝を報告しました。

笠松運動公園（ひたちなか市）で10月22日、雨の中で熱戦が繰り広げられた同大会には県内44市町村からクロケータ、ゲートボール、ペタンク、輪投げの4種目に計153チーム、個人競技のグラウンド・ゴルフには281選手が参加しました。

ほっとランド・きぬで6月27日に催された同下妻大会で優勝し、今回で県大会出場が3度目という太田さんは「県で優勝できてとてもうれしい。この年になってメダルをもらえるとは思わなかった」と笑顔でした。



「輪投げ」優勝の村岡大和会メンバーと稲葉市長（左から古澤さん、太田さん、篠山さん、鈴木さん）



国蝶オオムラサキの棲む森で観察会

オオムラサキの越冬観察会

小貝川ふれあい公園の自然観察ゾーンにあるオオムラサキの森で12月11日、「オオムラサキの越冬観察会」が行われました。

観察会は、下妻小学校3年生の総合学習の一環として毎年行われているもので、「オオムラサキと森の文化の会」の会員5人が講師となり、児童107人と一緒に落ち葉の中で越冬している幼虫を探して観察しました。

エノキの根本周辺の落ち葉を一枚一枚返しながら探すと、落ち葉と同じ色をした体長1センチメートル程度の越冬幼虫を見つけることができます。児童たちは「背中に四つある角が可愛い」などと言いながらも関心を示し、皆で観察した後は元の場所に丁寧に戻しました。

オオムラサキは6月下旬～8月初旬に成虫となり、オオムラサキの森の上空を飛ぶ姿が見られます。



落ち葉についた越冬幼虫に関心を示す児童たち



サンタさんからプレゼントを受け取る参加者

一足早いサンタクロースが駅に舞い降りる

あわてんぼうのサンタクロースが駅にやって来る！2014 in 騰波ノ江駅

関東鉄道常総線の騰波ノ江駅で12月20日、親子でふるさとの鉄道の認識と理解を育もうと、関鉄レールファンCLUBが主催するクリスマスイベントに、親子連れなど約20人が集まりました。

赤いベリーが鮮やかなクリスマスリースで飾られた列車からサンタクロースが登場すると、駅のホームで待つ子どもたちからは「サンタさん、来た、来た」などと歓声があがりました。同駅で5回目の開催となった今回は、関鉄レール・メイトの守谷小絹さんがレディーズサンタとして加わり、子どもたちにお菓子が入ったプレゼントを手渡しました。

子ども2人を連れて参加した石毛真紀子さんは「季節的なイベントなので、子どもが喜んでくれると思い連れて来た。私は高校生の時から常総線をずっと利用しているので、これからもイベントなどで盛り上げてほしい」と一足早いクリスマスを楽しみました。



運転手に安全運転を呼びかけました(宗道交差点で)

交通事故防止を呼び掛け

年末の交通事故防止県民運動キャンペーン

年末の交通事故防止県民運動(12月1～31日)の一環として街頭キャンペーンが12月1日、本宿交差点と宗道交差点の2箇所で開催され、下妻警察署や市内交通団体等の関係者約80人が、早朝の通勤ドライバーに「安全運転をお願いします」などと啓発品を手渡ししながら交通事故防止を呼び掛けました。

県警の統計によると、県内の交通事故による死者数は平成26年11月末現在で124人。前年同時期より22人減っていますが、犠牲者の約半数に当たる55人が高齢者となっています。

今回の運動は「反射材 あなたの未来を照らしてる」をスローガンに、「子どもや高齢者の交通事故防止」「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」の三つが重点事項とされています。県民一人一人が、交通ルールを遵守し、交通マナーの向上に取り組みましょう。

志に向かって歩こう

下妻中学校で立志行事「下妻街道歩く会」

元服にちなんで、数え年の15歳を祝う「立志式」。将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める行事です。

下妻中学校の2年生211名は11月20日、立志を迎えるにあたり、日光街道千住宿から常州(常陸国)真壁郡下妻を経て、奥州街道喜連川宿を結ぶ「下妻街道」を歩くことから、何事にも粘り強く取り組む心と地元の歴史を感じて郷土愛を育てようと「下妻街道歩く会」を実施しました。

立志行事として初の試みとなる歩く会のテーマは「WALK! WALK! WALK! ～志に向かって歩こう～」。生徒たちは、坂東市岩井公民館から同校に戻る約33キロメートルの南コースと栃木県真岡市の専修寺から同校に戻る約30キロメートルの北コースに別れ、約8時間かけて根気強く自分の足で歩き通しました。

完歩した男子生徒からは「この歩く会で、団結力やあきらめない心を学びました」と話が聞けました。



のぼり旗を掲げ元気に歩く生徒たち(北コース・筑西市黒子周辺)

ほっとレポライン Hot Repo Line 市民の声

アメリカ人宣教師ピンフォード夫妻の住まいとして大正12(1923)年に建てられた「ピンフォード邸」(下妻乙・陣屋)を訪れた筑西市在住の70代女性(匿名)からのお便りを紹介します。

前略 私の感動した気持ちを素直に書かせていただきました。

下妻市在住の親友の一人から常陽リビングというタウン誌を見せてもらいました。平成26年6月14日(土)発刊の常陽リビングの中に「ピンフォード邸」(米国人夫婦が暮らした在米工法で建てた洋館)の記事と写真を見て、先日さっそく訪問させていただき、浅野様より丁寧に説明を受けながら見せていただきました。

大正12年の建物は和洋折衷で、バランスよく、日本人の職人さんの技に、ただただ驚きました。外観は、重要文化財の札幌農学校(北海道大学)第2農

下妻市の誇りの一つとして

場の写真と共通している部分(赤いトタン屋根、横張りの板…)があります。

県内でも有名な下妻一高の近くにある「ピンフォード邸」は、下妻市の誇りの一つと改めて思った次第です。若いこれからの人にも、ぜひ見ていただけたら…という気持ちです。



和洋折衷の外観からは、日本の木造在来工法で洋風建築をつくった際の苦労の様子が伝わってきます

有料広告欄

有料広告欄

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1~3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎43-2112】までご連絡ください。



塚越 諒 ちゃん

陽介・香子さんの長男 半谷

乗り物や動物が、大好きな諒くん。最近では、一人でできることが増えましたね！泣かないで保育園に行くと「バイバイ」してくれるようになりました。

愛くるしい笑顔で、家族みんなが癒されます。ありがとう!(^^)!



石川 奏汰 ちゃん

俊昭・秋絵さんの二男 半谷

我が家のアイドルである奏汰は2歳半になりました。生まれた時は女の子のような顔だったけれど、今では立派なやんちゃ坊主に成長！

兄の結音のことが大好きで、することはいつも結音の真似ばかり。これからも兄弟仲良く、そして元気にすくすくと成長することを願っています。



石倉 新大・勇生 ちゃん

達也・良枝さんの長男・二男 下妻内大町

車のおもちゃが大好きで、いつも笑顔の弟のゆうくん。お兄ちゃんも小さな虫が大好きで、おしゃべり上手。ご飯も好き嫌がなく何でも食べてくれます。

そんな二人の成長をこれからもずっと見守ることがとても楽しみです！ゆうくん、あらちゃん大好きだよ。



口頭詩 子どもの純粋な 心のつぶやき



たちかわ こうせい

4歳8か月
(高道祖幼稚園)

うそついたら
うそついたら
はり けんぼん
のばす

【解説】
兄のけんじに向かって言った言葉です。ちよつといまちがいをしているのが、子どもらしくてかわいいなあと思えました。
採集 母 太刀川友里

法泉寺保育園

みんな仲良し かわいいヒツジ



◀年長(ゆり1、ゆり2)の皆さん



今年は未年ということで、綿や毛糸、にじみ絵やスタンプでいろんなヒツジを作りました。4月から小学校に行くゆり組さん。ヒツジたちのように、みんな仲良く元気な一年生になってね。

From SHIMOTSUMA みんなの ギャラリー

私は、自分が大好きなサーフィンの仕事をしています。そこで人と何かを共感することの大切さを学びました。

波乗りは、海の中に入っ
てしまえば個人技のスポー
ツですが、その日の波、風、
天気など自然を誰かと共感
することから人に対する親
近感を持つようになりま
す。

自然の中で遊ぶにはハー
ドなコンディションもあり
ますが、そんな時こそ「一

パワーの源

「人の笑顔は、『パワーの源』になる」

この先、感謝の気持ちと
楽しみを分かち合うことを
忘れずに、人生を全うして
いきます。

一緒に頑張った！思いが人の
心を引き寄せてくれます。
やがてその人の輪が全
国、世界へと広がりにく
なっていくことでしょう。そ
れが自分に良い刺激を与
え、やがて成長のための一
歩を踏み出すチャンスがき
きます。

わたしから あなたへ

さわやか
リレー
vol.108

前回登場の鯨井良征さんからの紹介



小口 勝裕 さん(長塚)

市民文芸

俳句
冬の星はやぶさ2の旅つづく 神郡 貢(高道祖)
ふと見るやそこに色あり冬の草 柴崎 久江(柳原)
沼風や白鳥囀むカメラマン 市村きよし(下栗)

短歌

絡みつく草ごとごとく枯れ果てて 高橋 京子(坂本新田)
電信柱太ぶとと立つ 吉原 眞子(高道祖)
草の穂の中より飛び立つ雀らは 倉田 淑子(原)
吾の足音に驚きたるか 小竹八重子(五箇)
特養の介護にむかう子の車 晩秋の薄陽に朱き実をつけて ひっそりと咲く鉢の千両
ひっそりと咲く鉢の千両 小竹八重子(五箇)
こともなく嵐の過ぎしこの夕べ 十三夜の月あかあかと照る 小林美智雄(唐崎)
野草展見ればみるほど感嘆し 吾も出来るか苗を求め 稲葉 節子(加養)
うす紅の母の好みし山茶花を 風散らしをり面影のたつ 神郡 亜佐(高道祖)
七十五の記念となりし同窓会に 生き生きとしてつどふはうれし 関 千代子(下妻乙)
柘榴の実は大きく笑み割れ夕陽うけ 鮮紅色の種子輝やかす 外山とく子(下妻乙)

有料広告欄

有料広告欄

相談ごと

◆行政相談

日時 2月13日(金)午後1時30分～3時30分
場所 千代川公民館 1階 小会議室
日時 2月27日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 1階 和室
問合せ 秘書課 ☎43-2112

◆人権相談

日時 2月27日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 2階 小会議室
問合せ 人権推進室 ☎43-8246

◆こころの健康相談

日時 2月4日(水)・25日(水)
午後1時～4時(予約制)
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
問合せ 福祉課 ☎43-8352

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)
午前9時～12時 午後1時～4時30分
日曜日(2月8日・22日)
午前9時～12時
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談
日時 2月5日(木)午後5時30分～7時30分
・休日納税相談
日時 2月22日(日)午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 1階 収納課
問合せ 収納課 ☎43-8274

◆法律相談

日時 2月10日(火)・17日(火)・24日(火)
午後1時30分～3時30分
※事前に予約が必要です(当日不可)
場所 2月10日・17日
市役所第二庁舎 3階 中会議室
2月24日
下妻公民館 2階 学習室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

1月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,425人 (-33)	(-352)
男	21,724人 (-21)	(-181)
女	21,701人 (-12)	(-171)
世帯数	15,209世帯 (+10)	(+105)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 2月1日～2月28日

2/1 日	在 坂入医院	小 西南
2 月		小 西南
3 火	元気アップ教室 (9:15～10:00)	小 西南
4 水		小 西南
5 木	遊びの広場 (10:00～10:30) すくすく相談 (13:30～)	小 西南
6 金	ぴよぴよ教室 (10:00～10:30) 5か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
7 土		小 西南
8 日	在 軽部病院	小 友愛
9 月		小 西南
10 火		小 西南
11 水	在 湖南病院/とき田クリニック	小 西南
12 木	すくすく相談 (13:30～)	小 西南
13 金		小 古河
14 土		小 西南
15 日	在 浅田医院	小 西南
16 月		小 西南
17 火	キッズくらぶ〈ベビー&ママ体操〉(10:00～10:30) 2歳児歯科健診 (13:15～13:30)	小 西南
18 水	パクパク離乳食教室 (10:00～10:15)	小 友愛
19 木		小 西南
20 金		小 古河
21 土		小 西南
22 日	在 まつだこどもクリニック	小 友愛
23 月		小 西南
24 火		小 西南
25 水		小 西南
26 木	1歳6か月児健診 (13:15～13:30)	小 西南
27 金	3歳児健診 (13:15～13:30)	小 古河
28 土		小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

坂入医院 ☎43-6391 浅田医院 ☎44-3957
軽部病院 ☎44-3761 まつだこどもクリニック
湖南病院/とき田クリニック ☎30-5558
☎44-2556

🌙 夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990

土・日・祝日(1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

小 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時
日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。
受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。
・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190)☎0280-87-8111
・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707)☎0280-97-3000
・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150)☎0280-23-7111

平成27年度

広告募集

● 広報しもつま ● 窓口用封筒
● 市ホームページ
に掲載する広告を募集します

市では、地域産業の振興を図るとともに、広告掲載料による自主財源の確保を目的として、「下妻市広告掲載取扱に関する要綱」を定め、広報しもつまや市ホームページなどに広告を掲載する事業者等を募集しています。

■ 募集内容(下図参照)

- 「広報しもつま」は、原則として毎月10日に発行しています。オールカラーで14,500部作成し、市内のご家庭に各戸配布しているほか、市の施設や駅、ショッピングセンターなどにも置いています。各ページの最下段に広告枠を設けています。
- 「窓口用封筒」は、市民課などの窓口で使用している封筒の裏面に、広告枠を設け、今後使用が見込まれる20,000枚を印刷します。
- 「市ホームページ」への広告掲載は「バナー広告」とし、掲載位置はトップ画面の中で市が指定した位置となります。平成25年3月に市ホームページのリニューアルを行い、月に約15万件ものアクセスがあります。

■ 広告の位置、企画および掲載料

種類	位置	規格	回数又は月数	掲載料
1 広報しもつま	最下段(表紙及び最終面を除く)	通し枠 (42mm×178mm)	1回	15,000円
			連続3回	43,000円
			連続6回	80,000円
		2分の1枠 (42mm×88mm)	連続12回	150,000円
			1回	8,000円
			連続3回	23,000円
			連続6回	42,000円
			連続12回	80,000円
2 窓口用封筒(1枠)	封筒裏面に印刷	60mm×85mm	掲載した封筒の使用完了まで 20,000枚×@4.0円	
3 市ホームページ	広告の掲載位置は、市ホームページのトップ画面で、市の指定する位置とする。表示方法は、「バナー広告」とする。			
	規格(1枠)	縦43ピクセル、横138ピクセル、 8KB以内、GIF形式(アニメーション可) 又はJPEG形式	1月	15,000円
			連続3月	43,000円
			連続6月	80,000円
			連続12月	150,000円

■ 申込資格

住所又は事業所を有する市町村の市町村税を滞納していないもの。
※「下妻市広告掲載の取扱いに関する要綱第3条」に定められた広告(公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるものなど)は掲載できません。

■ 申込締切

平成27年2月10日(火)

■ 申込方法

広告掲載申込書に、下記の添付書類を添えて、お申し込みください。
○添付書類
・広告原稿(案)
・住所又は事業所を有する市町村の市町村税の滞納がないことを証する書類(市内に住所又は事業所を有する場合を除く)
※広告掲載申込書は、市役所本庁舎市長公室に用意してあります。
また、市ホームページからダウンロードできます。

申し込み・問い合わせ 秘書課 ☎43-2112

有料広告欄